

流山市議会における議会活性化の経緯 (R4.4.1 更新)

【記号説明】

- ◎国の動き ○議会内機関の設置 ★改革の具体的アクション
 ◆統一地方選挙・議会内改選 ●議員発議&決議 ▼反問権 ※補足
 □受賞実績ほか ■メディア掲載実績

- 平成11年 4月 ◆統一地方選挙（32議席）
 5月 ◆議会内の改選
- 平成12年 4月 ◎地方分権一括法 施行
- 平成13年 5月 ◆議会内の改選
 7月 ○地方分権検討協議会の設置
 // ★会議規則の見直し
- 平成15年 4月 ◆統一地方選挙（32議席）
 5月 ◆議会内の改選
 6月 ○地方分権推進特別委員会の設置
- 平成16年 9月 ※上記、H16.8行革審最終答申の重点推進事項に「まちづくり基本条例」の制定が盛り込まれ、同年、9月定例会初日に市長が所信表明演説をする。同9月定例会の一般質問において議員が市長に「議会主導の自治基本条例の制定について」問う。
 // ■産経新聞 朝刊 千葉版
 顔向け合い討議 議場レイアウト変更へ
- 平成17年 3月 ★対面演壇方式の導入（※90度）
 5月 ◆議会内の改選
 12月 ●議員定数の見直し（32名⇒28名へ削減）可決
- 平成18年 5月 ★政務調査費報告書を情報公開コーナーへ
 9月 ★インターネット議会中継の導入（本会議）
 // ★流山市議会会議規則の改正
- 平成19年 4月 ◎地方分権改革推進法 施行
 // ◆統一地方選挙（32議席⇒28議席）
 // ★議会運営委員会で議会改革の協議
 // ★流山市議会議員政治倫理条例の策定
 5月 ◆議会内の改選
 6月 ★完全対面式演壇の設置（※180度）
 // ★委員会条例の改正（委員会の原則全面公開）

- 平成19年 6月 ●流山市子育てにやさしいまちづくり条例の制定
 ↳子育てにやさしいまちづくりを推進するための基本理念、基本方針等を定めるとともに、市、市民、事業者及び学校がそれぞれの担うべき役割、責務等を定めることにより、相互の連携及び協力を強めながら、未来の流山を担う子どもを安心して生み、育てることができるとともに、子育てにやさしいまちづくりを実現し、活力ある元気な流山市の実現に寄与するための条例制定（継続審査）
- 9月 ●流山市子育てにやさしいまちづくり条例の制定
 ↳6月からの閉会中の継続審査分（全会一致可決）
- 10月 ★議員間協議による予算（議会費）積算&要望
- 平成20年 1月 ■月刊ガバナンス 議会改革レポート【変わるか！地方議会】
 「事業ありき」で議会費のあり方を検討し、市長に要望
- 3月 ○議会基本条例策定特別委員会の設置
 // ★議会用語解説webページの新設
- 5月 ◎地方分権委員推進委員会 第1次勧告
 「生活者の起点に立つ『地方政府』の確立」
- 6月 ◎地方自治法の一部を改正する法律成立
 // ★一般質問の一問一答方式導入
 // ★議場内にモニターテレビ設置（傍聴者への配慮）65型
 // ★傍聴者アンケート実施
 // ★専門的知見の活用
 （議会基本条例制定に関し早稲田大学マニフェスト研究所と提携）
- 7月 ★議会基本条例集中講座の開催（議員・職員・市民を対象）
 ・草間 剛 先生 @早稲田大学マニフェスト研究所 研究員
 ・岩名 秀樹 先生 @三重県議会前議長
 ・大同 衛 先生 @京丹後市議会議長
 ・加藤 幸雄 先生 @元全国市議会議長会調査広報部長
 ※@肩書は集中講座当時のもの
- 10月 ★議会シンポジウムの開催（参加者：220名）
 // ★議会基本条例報告会の開催（参加者31名）
 // ■日経グローバル 特集
 動き出す地方議会改革 議会基本条例、制定の動き急
 事例⑤「市民との意見交換会で条例の総仕上げ」
- 11月 ★議会基本条例報告会の開催（参加者26名）
 // □マニフェスト大賞 最優秀成果賞にノミネートされる。
 // ■月刊ガバナンス DATA BANK2008
 議会基本条例の制定に向けシンポジウム開催

- 平成21年 3月 ●議会基本条例上程（委員会提出議案）全会一致可決
 // ■毎日新聞（3/25）
 県内初の自治基本条例案など可決 ※議会基本条例と同時可決記事
- 4月 // 施行（4月1日）
- 5月 ◆議会内の改選 ※役選人事OPEN会議
 // ★議長候補者（2名）議長マニフェストの事前配布
 // ■月刊ガバナンス Focus
 自治基本条例と議会基本条例を同時制定・施行
- 9月 ◎鳩山政権発足
 // ○議会活性化推進特別委員会の設置
- 10月 ●「市民に開かれた市議会」の実現に向けて、
 更なる情報発信と情報通信技術（ICT）の推進を求める決議を全会
 一致で可決
- 11月 ★「第1回議会報告会」開催（参加市民：31名@南流山センター）
 // □マニフェスト大賞 最優秀成果賞にノミネートされる。
 // ■毎日新聞（11/7）
 「流山市議会がマニフェスト大賞の最終選考に」
- 12月 ◎第1回 地域主権戦略会議
 // ▼一般質問における市長の反問権行使
 ↳条例制定後初めての反問権行使
- 平成22年 2月 ★議会基本条例の一部改正（反問権を行使出来る者の範囲の拡大）
 ※第11条第2項及び第3項「市長等(市長その他の執行機関)」⇒「説明員」
 // ○議会広報広聴特別委員会の設置（分掌事項の充実）
- 3月 ★一日一常任委員会の試行（傍聴機会の充実・委員会審査の充実）
 // ▼一般質問における市長・副市長の反問権行使
 // ★予算審査特別委員会の各日程終了後、協議会方式で委員の自由討議
 （感想・意見交換）を実施
- 4月 □日本経済新聞社 全国市区議会（806）
 議会改革度ランキング調査で全国9位（千葉県内1位）に、
 ランキングされる。
 // ■日本経済新聞（4/4） 議会の透明性・改革度
 1位は京丹後市 議会改革度ベスト10
 // ★Ustream（ユーストリーム）による全国初の委員会中継
 （LIVE中、最大16名、録画放映、100件、2010、4月末日時点）
 // ★流山市議会 Twitter 公式アカウント取得 @nagareyamagikai

- 平成22年 5月 ★第2回議会報告会（市内4か所で開催）
 ↳参加市民（157名）
 @北部20名、@東部48名、@初石58名、@南流山31名
- // ■月刊ガバナンス DATA BANK2010
 ユーストリームによる議会中継を実験的にスタート
- 6月 ▼一般質問における市長、副市長の反問権行使
- 8月 ★議会活性化推進特別委員会ICT研修会の開催（議員・執行部）
 ↳①「流山市議会ICT推進計画」策定に向けて、議会活性化推進特別委員会が中心となって企画し、全議員を対象にICTの現状・ネットワーク時代における住民参加の手法・ツールについて講義形式で研修会を開催した。この模様はUstream（ユーストリーム）によりLIVE中継を行った。
 【研修会講師】
 ・奥村 裕一 先生 @東京大学公共政策大学院特任教授
 ・小林 隆 先生 @東海大学政治経済学部政治学科准教授
 ・村上 文洋 先生 @三菱総合研究所主席研究員
 ・米山 知宏 先生 @三菱総合研究所研究員
 ※@肩書は研修会当時のもの
- // ■読売新聞（8/26）夕刊
 千葉県流山市議会「スマートフォンで採決」
- 9月 ★携帯端末機による電子採決の実施
 ↳①開かれた市議会を目指し、議案に対する各議員の賛否を明確にし、閉会后速やかに議会ホームページに掲載した。
- // ▼一般質問における市長の反問権行使
- // ■NHK 19時ニュース 21時ニュースほか
 （スマートフォン採決関係）
- // ■千葉日報（9/3）市議会で電子採決
- // ■千葉日報（9/10）議員別の“賛否明確”に
 スマートフォンで初採決
- // ■読売新聞（9/10）スマートフォン初の採決
- // ■朝日新聞（9/10）スマートフォンを使った全国初の採決
- // ■毎日新聞（9/10）携帯で採決、瞬時に表示
- // ■東京新聞（9/10）スマートフォンで採決 固定式より低コスト
- 10月 ■日本経済新聞（10/20）スマートフォンで採決
 流山市議会、委員会中継も 市民の関心を地方議会へ
- 11月 □マニフェスト大賞 最優秀成果賞受賞
 ↳「全国初！ユーストリームによる委員会審議の公式ライブ中継・スマートフォンを利用した電子採決方式の導入、流山市議会ICT基本計画の策定」

- 平成22年11月 □マニフェスト大賞 優秀議会改革賞受賞
 ↳「一連の議会改革について」
 // ★第3回議会報告会（市内4か所で開催）
 ↳参加市民（132名）
 @北部24名、@東部30名、@十太夫70名、@南流山8名
 // ■毎日新聞（11/7） マニフェスト大賞 携帯端末での採決評価
 流山市議会に最優秀成果賞
- 12月 ★「(仮称)流山市議会ICT推進基本計画」の策定
 ↳第4回定例会本会議にて報告（議会HPに掲載）
 // ★一般質問における市長の反問権行使
 // ■広報 703号（12/10） Topics
 議会改革は“コミュニケーション改革”
 // ■朝日新聞（12/26） 「反問権」広がる
 流山市議会、委員会中継も 市民の関心を地方議会へ
- 平成23年 3月 ●「市民に開かれた市議会」実現のために、
 「流山市議会ICT推進基本計画」を実施する決議
 // ★流山市議会正副議長選挙準備会設置要綱制定
 // ★流山市議会正副議長立候補者所信表明演説会実施要綱制定
 // ★一般質問における市長の反問権行使
 // ■朝日新聞（3/9） 変わるか議会 情報発信
 流山市議会、委員会中継も 市民の関心を地方議会へ
- 4月 ◆統一地方選挙（28議席）
 5月 ◆議会内の改選
 // ★流山市議会正副議長立候補者所信表明演説会実施要綱に基づき、
 改選後の5月臨時会において正副議長立候補者所信表明演説会を
 実施
 （議長立候補者2名、副議長立候補者1名）
- 8月 ★議場傍聴席用モニターの設置（52型）※318,990円（設置費込み）
 9月 ◎野田内閣発足
 // ★議会基本条例の一部改正（地方自治法の改正に伴う改正）
 ※第13条⇒地方自治法における基本構想の策定義務が廃止された
 ことに伴い、議会の議決すべき事件を基本構想及びその基本計画と改
 めた。
- 11月 ★第4回議会報告会
 （市内4か所において、6日、13日と2回に分けて開催）
 @北部57名、@南流山49名、@東部59名、@初石48名
 ↳参加市民（213名）
 // ★議会運営委員会のUSTREAM中継の実施の決定（H23.11.21～）
 // ★各常任委員会、特別委員会のUSTREAM中継の実施の決定
 （H23.12.1～）

- 平成23年11月 ★一般質問時における議場へのパソコン等の持ち込みの許可
 ※（一般質問の登壇時のみパソコンの使用を議長の秩序保持権に基づき原則許可とする）23人中14人の議員が、パソコン、プロジェクター、スクリーンを活用し一般質問を実施した。
- // ●流山市空き家等の適正管理に関する条例の制定
 犯罪や災害の発生を誘発する機会を減少させ、市民の安全で良好な日常生活を確保するため、空き家等の適正管理を図るための条例制定（全会一致可決）
- // ▼一般質問における市長の反問権行使
- // ▼一般質問における健康福祉部長の反問権行使
 （※初めての市長・副市長以外による反問権行使）
- 平成24年 1月 ■フジテレビ FNNスピーク
 「スマホも解禁・・・進む議会改革」
 スマートフォンなどによる議会改革
- 2月 ★流山市議会 facebook（市議会公式）ページ開設
 「議会中継を見る日」キャンペーンを展開
- // ★インドネシア地方代表議会の視察受け入れ 合計8名
 「地方議会について」 日本の地方議会の議会改革
 インドネシア地方代表議会
 議員1名、副事務総長1名、
 事務局職員3名、DPR事務局職員2名、インドネシア語通訳1名
- // ★流山市議会会議規則の一部改正
 ※第64条⇒緊急質問についても一般質問と同様、一問一答制とすることとした。
- // ★「質問については、第56条（質疑の回数）及び第60条（質疑又は討論の終結）の規定を準用する。」を「質問については、第60条（質疑又は討論の終結）の規定を準用する。」と改めた。
- // ▼一般質問における市長の反問権行使
- // ▼一般質問における都市計画部長の反問権行使
 （※2回目の市長・副市長以外による反問権行使）
- 3月 ●流山市自転車の安全利用に関する条例の制定
 ↳自転車が関係する事故を未然に防止するとともに、自転車の交通安全の推進に資するための条例制定（全会一致可決）
- // ■西日本新聞（3/1）朝刊
 千葉県流山市議会がインターネットのフェイスブックを使って「議会中継を見る日」のキャンペーンを始めた。
- // ■日経グローバル フォーカス 情報発信に目覚めた地方議会
 流山・鳥羽など、全委員会をネット中継
 ツイッターなどで無関心層にも働きかけ

- 平成24年 4月 ★流山市議会「議会報告会に参加しよう！」
キャンペーンをfacebook（市議会公式）ページで展開
- // ★流山市市民参加条例に関する調査研究委託として廣瀬克哉
法政大学教授と専門的知見の活用に関する委託契約を締結
- 5月 □日本経済新聞社 全国市区議会（810）
議会改革度ランキング調査で全国第1位にランキングされる。
（公開度1位、住民参加度12位、運営改善度1位）
- // ■日経グローバル 特集 議会改革度、トップは流山（千葉）
全国市区調査 鳥羽（三重）・嬉野（佐賀）が続く
- // ■日本経済新聞（5/21）全国810市区本社調査
議会改革、道半ば 千葉・流山、総合1位
- // ■日本経済新聞（5/22）議会改革度1位の流山市
委員会もネット中継
- // ■毎日新聞（5/27）千葉版
流山市議会がHP改革
- // ★早稲田大学マニフェスト研究所、NTTアドバンステクノロジーと、
「市民参加でつくるGIKAIホームページの提供を目指して」
共同研究を開始
- // ★第5回議会報告会
（市内4か所において、13日、20日と2回に分けて開催）
↳参加市民（171名）
@北部18名、@南流山16名、@東部74名、@初石61名
- 6月 ▼一般質問における健康福祉部長の反問権行使
★流山市議会「みんなでつくろう！市議会ホームページ」
キャンペーンをフェイスブック（市議会公式）ページで展開
- // ★市民参加条例議会修正案を16対11で可決
- // ■日経グローバル 全国市区議会調査から
「2011年度の議会報告会の開催状況」
- 7月 ★議員及び議会事務局職員に1人1台タブレット端末配布
- 8月 ■教育家庭新聞（8/6）IT活用でまちづくり
UST、ツイッター、スマホなどのICT活用で議会改革
- 9月 ▼一般質問における副市長の反問権行使
- // ▼一般質問における市長の反問権行使
- // ■月刊ガバナンス 特別企画記事
「見たくなる議会」をめざし、市民参加型ホームページを共同研究
- // ■電経新聞（9/10）日本のICT
流山市議会、議会改革にICT活用
議会ホームページ刷新、あるべき姿を模索

- 平成24年 9月 ■読売新聞(9/12) 多摩版 朝刊
地方自治を問う「反問権」
- 10月 ★市議会ホームページを市のホームページから独立させ、独自ドメインを取得し、WebサイトをCMSで完全リニューアルと同時に市議会では全国に先駆けてオープンデータの試行実験に着手
- // ■月刊ガバナンス 変わるか!地方議会
専門的知見も活用し、市民参加条例を大幅修正
- // ■電経新聞(10/1) 4面 流山市議会ホームページで稼働
「市議会オープンデータの試行実験(全国初の試み)」
- // ■広報 725号(10/10)最新トピックス(巻頭記事)
サイトのリニューアルにあわせて「オープンデータ化」を推進
- 11月 □マニフェスト大賞 最優秀コミュニケーション賞受賞
↳「テクノロジーをツールに「見られる議会」から「見たくなる議会」への変革を目指す」
- // ■毎日新聞(11/3) 特集面 第7回マニフェスト大賞
最優秀コミュニケーション賞
千葉県流山市議会 全議員にタブレット
- // ■月刊ガバナンス T o p i c s
HP全面リニューアルに合わせ、
執行部・市議会のオープンデータ化を推進
- // ★第6回議会報告会
(市内4か所において開催)
↳参加市民(74名)
@北部39名、@東部11名、@十太夫16名、@南流山8名
- // □早稲田大学マニフェスト研究所
全国都道府県市区町村議会(1789)
議会改革度ランキング調査で全国第6位にランキングされる。
(公開度3位、住民参加度90位、運営改善度3位)
- // ▼一般質問における市長の反問権行使
- 12月 ▼一般質問における土木部長の反問権行使
- // ■毎日フォーラム 地方自治 第7回マニフェスト大賞決まる
政策本位の政治実現へ 応募数は過去最多を更新
- // ◎安倍政権発足
- 平成25年 1月 ■議員NAVI(第一法規)Vol.35
議員活動のためのソーシャルメディア講座
第4回 流山市議会が描く、次世代型議会の姿(上)
- 2月 ★議会基本条例の一部改正(第27条の検証・見直し規定による改正)
※政務活動費への改称、半年間の検証を受け、議会運営の実態を反映した内容に改めた。

- 平成25年 2月 ■「地方議会人」2月号
 これからが本番、ITを活用した議会広報
- 3月 ■総務省3月号 地方力2
 オープンデータトライアル
- // ■議員NAVI（第一法規）Vol.36
 議員活動のためのソーシャルメディア講座（第5回）
- 4月 ★議会広報サポーターを2名公募
 ※市議会のホームページ及び議会だよりの更なる充実のため、Web
 サイト及び広報誌の編集に専門的な知見をもつ方各1名、合計2名
 を公募（任期は平成25年6月から平成26年3月）
- 5月 ★流山市議会中間報告書の作成と公開
 // ◆議会内の改選
 // ★流山市議会正副議長立候補者所信表明演説会実施要綱に基づき、
 臨時会において正副議長立候補者所信表明演説会を実施
 （議長立候補者2名、副議長立候補者1名）
 // ★第7回議会報告会
 （市内4か所において開催）
 ↳参加市民（106名）
 @江戸川台11名、@東部28名、@十太夫34名、@南流山33名
- 6月 ▼一般質問における市長の反問権行使
 // ○議員定数等に関する特別委員会設置
 // ○市民総合体育館建設に関する特別委員会設置
 // ■朝日新聞（6/2）地域総合 首都圏発
 議員の賛否非公表…電子表決導入へ導く
 // ■記録管理学会 2013 研究大会
 オープンガバメントと公共情報 —記録管理の重要性と記録整理の
 必要性—
- 7月 ★議場内傍聴席に磁気ループシステム設置 ※450,975 円（設置費込
 み）
 // ◎参議院議員選挙
 // ■議会改革白書 2013 年版（7/27 第1版）
 ICTを利活用して、市民が“見たくなる議会”へ（P17～）
- 9月 ▼一般質問における市長の反問権行使
- 10月 ■日経グローバル Vol.229 特集
 オープンガバメントで自治体は変わるか
- 11月 ★第8回議会報告会
 （市内4か所において開催）
 ↳参加市民（55名）

- @江戸川台 11 名、@東部 24 名、@十太夫 6 名、@南流山 14 名
- 平成 25 年 1 1 月 ★議員定数等に関する特別委員会において参考人招致（2 名）
- // ★議員定数等に関する市民との意見交換会を開催
 ↳参加市民（80 名）
- // ★議員定数等に関するアンケートを実施
 ※アンケート用紙及びボックスを出張所等、市の施設に設置する他、ホームページによる回答も募集。また無作為に抽出した市民 1000 人にアンケートを郵送した。
- // ■毎日新聞（11/2）朝刊総合及び特集
 マニフェスト大賞
 最優秀ネット選挙・コミュニケーション戦略賞
 「議会と連携、データ公開」（受賞は流山市が対象）
- // ■東奥日報（11/22）「善政」競う時代～本県議会改革事情④～
 情報通信技術 活用を
- 平成 26 年 1 月 ★議員定数等に関する特別委員会において公聴会実施（17 名）
- 2 月 ★フェイスブック運用ガイドラインを作成
- // ★ツイッター運用ガイドラインを作成
- 3 月 ▼一般質問における産業振興部長の反問権行使
- // ★議員定数条例改正案 2 案（4 人減、2 人減）が上程され、両案とも
 否決
- // ■千葉日報（3/26）
 議員定数で異例の“徹夜議会” 子ども医療費で附帯決議
- 4 月 ★議会ホームページのリニューアル
- 5 月 ★第 9 回議会報告会
 （市内 4 か所において開催）
 ↳参加市民（101 名）
 @森の図書館 9 名、@南流山 32 名、@初石 38 名、@東部 22 名
- 6 月 □早稲田大学マニフェスト研究所
 全国市都道府県市区町村議会（1444）
 議会改革度ランキング調査で全国第 8 位にランキングされる。
 （情報公開 25 位、住民参加 52 位、機能強化 2 位）
- // □日本経済新聞社 全国市区議会（813）
 議会改革度ランキング調査で全国第 5 位にランキングされる。
- // ★議会基本条例の一部改正
 ※第 19 条の新人議員研修の対象を議会基本条例のみではなく、
 議会関係諸例規などに拡大
- // ●公立小中学校間格差の解消を図るべく、教育福祉委員長発議の「公立

小中学校間格差の解消を図ることを求める決議」を全会一致で可決

- 平成26年 9月 ▼一般質問における市長の反問権行使
// ★流山市議会 facebook ページのリニューアル
- 11月 ★第10回議会報告会（市内4か所において開催）
↳参加市民（63名）
@向小金9名、@江戸川台13名、@南流山24名、@初石17名
// ★全議員によるタブレット端末機での模擬電子採決の実施
- 12月 ★Facebook を活用した議案等への意見募集（試行）
※第4回定例会に提案される議案の一部と請願・陳情について、委員会審査がおこなわれる前に議会のホームページと公式 Facebook ページにおいて情報発信し、意見をいただく取組を試行的に実施した。
// ★タブレット端末機による電子採決の実施
- 平成27年 1月 ■月刊ガバナンス 議案、請願・陳情を委員会審査前に Facebook ページで公開
- 2月 ★流山市議会報告書の作成と公開の決定【H27.2.17 議会運営委員会で決定】※統一地方選挙後の5月末に公開することで決定
// ★「一般質問時において投影する質問補助資料取扱要領」制定
※平成27年2月19日施行【H27.2.17 議会運営委員会】
- 4月 ■日経グローバル（4/6）ここから始める議員活動 No.1（P48～）
うちの議会はダメではダメ 常に考察「市民にとって」
// ■日経グローバル（4/20）ここから始める議員活動 No.2（P42～）
議会改革は自分改革 独善避け、説明・説得を
// ◆統一地方選挙（28議席）
- 5月 ■日経グローバル（5/4）ここから始める議員活動 No.3（P34～）
理念・ゴールを想定しよう 意思決定の基準値明確化を
// ■日経グローバル（5/18）ここから始める議員活動 No.4（P110～）
理念やプロセスの共有へ コミュニケーション改革を
// ◆議会内の改選
// ★流山市議会正副議長立候補者所信表明演説会実施要綱に基づき、
改選後の5月臨時会において正副議長立候補者所信表明演説会を実施（議長立候補者2名、副議長立候補者1名）
- 6月 ▼一般質問における市長の反問権行使
// ■日経グローバル（6/1）ここから始める議員活動 No.5（P40～）
「あれかこれか」の選択を 議会費、議会で予算案作成
// ■日経グローバル（6/15）ここから始める議員活動 No.6（P42～）
市民の声を徹底して聴く ICTも活用、市政に反映を

- 平成27年 7月 ■日経グローバル (7/20) ここから始める議員活動 No.8 (P46~)
最重要ミッションは民意の反映 議会報告会などで市民と対話を
- 8月 ★セキュリティ強化のためのメールの取り扱いについて協議し決定した。
- // ■日経グローバル (8/3) ここから始める議員活動 No.9 (P44~)
第三者に語ってもらおう 理想と現実の格差認識を
- 9月 ★流山市議会会議規則の一部改正
※第2条及び第91条⇒前項ただし書の規定にかかわらず、議員は、出席のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができることとした。
- // ■日経グローバル (9/7) ここから始める議員活動 No.10 (P38~)
アクションプランを立てよう 流山市議会ICT計画を例に
- // ■日経グローバル (9/21) ここから始める議員活動 No.11 (P46~)
オープンガバメント推進で 市民参加を次のステージへ
- 11月 ★第11回議会報告会 (市内4か所において開催)
↳参加市民 (64名)
@駒木台 15名、@向小金 20名、@北部 7名、@平和台 22名
- 12月 ▼一般質問における市長の反問権行使
- 平成28年 1月 ■日経グローバル (1/18) ここから始める議員活動 No.15 (P38~)
参加が容易な仕組み作りへ ネット中継やSNSの活用を
- 2月 ★YouTubeによる委員会中継を開始
- // ▼一般質問における市長の反問権行使
- 5月 ★第12回議会報告会 (市内4か所において開催)
↳参加市民 (57名)
@南流山 11名、@おおたかの森 21名、@東部 17名、@東深井 8名
- 6月 ▼一般質問における市長の反問権行使
- 7月 ★高校生議会の開催
※市内県立6高等学校の高校生28名を高校生議員とし、議事進行は現流山市議会議長、答弁は議長を除く27名の議員の中から行った。
- 11月 ★第13回議会報告会 (市内4か所において開催)
↳参加市民 (71名)
@南流山 28名、@駒木台 20名、@森の図書館 9名、@生涯学習 14名
- 12月 ★市議会ホームページ上でのオープンデータトライアルを本格実施に移行することについて決定。【H28.12.19 議会広報広聴特別委員会】

- 平成29年 1月 ★政務活動費の領収書の写しを市議会ホームページに掲載することについて決定。【H29.1.12 会派代表者会議】
- 平成29年 3月 ●都市建設委員長発議の「消防本部・中央消防署庁舎の早期移転建設を求める決議」を全会一致で可決
- 5月 ★第14回議会報告会（市内4か所において開催）
 ↳参加市民（62名）
 @東部13名、@森の図書館25名、@中央11名、@初石13名
- // ◆議会内の改選
- // ★流山市議会正副議長立候補者所信表明演説会実施要綱に基づき、臨時会において正副議長立候補者所信表明演説会を実施（議長立候補者1名、副議長立候補者1名）
- 6月 ▼一般質問における市長の反問権行使
- 11月 ★第15回議会報告会（市内4か所において開催）
 ↳参加市民（100名）
 @南流山16名、@おおたかの森61名、@エルズ9名、@北部14名
- // ★「流山市議会ICT推進基本計画」の見直し、及び「流山市議会における災害対応」についての検討を始めることを決定。【H29.11.15 議会運営委員会】
- 12月 ▼一般質問における市長の反問権行使
- // ●教育福祉委員長発議の「おおたかの森地区における中学校新設の早期検討を求める決議」を全会一致で可決
- // ★市内農家の現状と課題について、市民経済委員会委員と農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員との意見交換会を実施
- 平成30年 5月 ★第16回議会報告会（市内4か所において開催）
 ↳参加市民（50名）
 @初石11名、@エルズ13名、@北部13名、@南流山13名
- // ★災害対応について調査研究のため、議会運営委員会で行政視察（福島県相馬市議会、福島市議会）
- 6月 ●市民経済委員長発議の「地産地消の推進に関する決議」を全会一致で可決
- 10月 ■日経グローバル（10/15，No.350）
 特集・全国市区議会の「議会活力度ランキング」 総合順位6位
- 11月 ★第17回議会報告会（市内4か所において開催）
 ↳参加市民（60名）
 @エルズ13名、@北部14名、@南流山15名、@初石18名
- // ★「流山市議会災害対応マニュアル」の策定【H30.11.27 議会運営委員会】
- 12月 ★「流山市議会ICT推進基本計画」の改定をおこなうとともに、「流

山市議会 I C T 推進基本計画に基づく実施計画一覧」を策定
【H30.12.19 議会運営委員会】

- 平成31年 2月 ▼一般質問における総合政策部長の反問権行使
- 3月 ●つくばエクスプレス沿線整備と新川耕地・周辺特別委員長発議の「つくばエクスプレスの混雑緩和等を求める決議」を全会一致で可決
- 4月 ◆統一地方選挙（28議席）
- 令和元年 5月 ◆議会内の改選
- // ★流山市議会正副議長立候補者所信表明演説会実施要綱に基づき、改選後の5月臨時会において正副議長立候補者所信表明演説会を実施（議長立候補者1名、副議長立候補者1名）
- 6月 ○次期総合計画審査特別委員会の設置
- 9月 ★議場内のカメラ、マイク、スピーカー等の映像・音響機器及び議案等の採決を行う電子採決システムの全面更新
- // ★本会議のインターネット中継に手話通訳の同時中継を導入（本会議）
- // ■千葉日報（9/6）本会議中継に手話通訳
- // ■毎日新聞（9/6）議会中継に手話同時通訳
- // ■朝日新聞（9/6）本会議ネット中継に手話通訳
- // ■読売新聞（9/19）流山市会手話で生中継
- 11月 ★第18回議会報告会（市内4か所において開催）
↳参加市民（74名）
@東部11名、@南流山20名、@おおたかの森18名、@北部25名
- 令和2年 3月 ●都市建設委員長発議の「実効性のある公共交通網形成計画の策定を求める決議」を全会一致で可決
- 5月 ★第19回議会報告会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- 6月 ●流山市新型コロナウイルス感染症対策条例の制定
↳緊急事態宣言が解除されたとは言え、その先行きが見通せない中、今後も引き続きの感染防止に向けた取り組みや、自粛に伴い発生している様々な諸課題に対し、全ての市民並びに事業者の皆様と行政、そして議会が一団となって取り組んでゆくための条例制定（全会一致可決）
- // ■千葉日報（6/13）新型コロナ対策条例可決
- 令和3年 3月 ★「流山市議会 I C T 推進基本計画に基づく実施計画一覧」を改定
【R3.3.22 議会運営委員会】
- 5月 ◆議会内の改選
- // ★第20回議会報告会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- 11月 ★第21回議会報告会（市内4か所において開催）
↳参加市民（32名）
@北部6名、@南流山12名、@おおたかの森8名、@向小金6名

【流山市議会議員研修会 歴代講師】 ※@肩書は研修会当時のもの

H13 後藤 仁 先生 @神奈川県大学教授

H14 竹下 譲 先生 @四日市大学教授

H15 【これからの自治体と議会改革】

松下 圭一 先生 @法政大学法学部教授

H16 【これからの自治体と地方議会】

磯崎 初仁 先生 @中央大学法学部教授

H18 【分権時代における市議会のあり方】

辻山 幸宣 先生 @(財)地方自治総合研究所 主任研究員

H19 【地域自立と地方議会のあり方】

北川 正恭 先生 @早稲田大学大学院教授

H20 【新地方公会計制度と議会とのかかわり】

黒石 匡昭 先生 @新日本パブリックアフェアーズ株式会社 公認会計士

【IT化で何ができるのか】

松田 浩治 先生 @NTT データ 第一公共事業部 事業企画課長

【全国における議会基本条例制定の動き】

草間 剛 先生 @早稲田大学マニフェスト研究所 研究員

【京丹後市議会基本条例について】

大同 衛 先生 @京丹後市議会議長

【三重県議会基本条例について】

岩名 秀樹 先生 @三重県議会前議長

【議会のありかたと議会基本条例について】

加藤 幸雄 先生 @元全国市議会議長会調査広報部長

H21 【自治を担う議会とは～機関競争による地域経営～】

江藤 俊昭 先生 @山梨学院大学大学院教授

H22 【開かれた市議会をつくるためのICTの活用～「流山市議会ICT推進基本計画」策定に向けて～】

奥村 裕一 先生 @東京大学公共政策大学院特任教授

小林 隆 先生 @東海大学政治経済学部政治学科准教授

村上 文洋 先生 @三菱総合研究所主席研究員

米山 知宏 先生 @三菱総合研究所研究員

【今後の地方議会のあり方】

廣瀬 克哉 先生 @法政大学法学部教授

H23 【放射能問題に関するディスカッション】

飯本 武志 先生 @東京大学准教授

藤井 博史 先生 @独立行政法人国立がん研究センター東病院
臨床開発センター機能診断開発部長

【地方公共団体ガバナンスの動向～監査委員監査の議論をめぐって～】

小関 勇 先生 @日本大学教授

【幼・保一体化について 子育て支援について】

柏女 霊峰 先生 @淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科教授

【これからのまちづくりについて】

岩見 良太郎 先生 @埼玉大学名誉教授

H24 【通年議会と議会改革の今後について】

中尾 修 先生 @東京財団研究員、早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員、
第30次地方制度調査会臨時委員、元北海道栗山町議会事務局長

寺田 雅一 先生 @総務省自治行政局行政課 地方議会企画官

【高齢者支援と孤独死対策について】

結城 康博 先生 @淑徳大学社会福祉学科准教授

【自分の可能性を求めて】

成田 真由美 先生 @パラリンピック競泳金メダリスト

H25 【議会の機能を高める上で市財政をどう読み解くのか】

大和田 一紘 先生 @NPO法人多摩住民自治研究所理事長

【感性の花をさかせようーいじめをなくす『三き』の心】

漆原 智良 先生 @児童文学作家・教育評論家

【震災対策として自治体は何を準備すべきか】

目黒 公郎 先生 @東京大学教授

生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター長

H26 【もっと知ろう流山】

青木 更吉 先生 @地域史研究家

【中小企業の再生なくして、地域の活性化なし～自治体で取り組むべき中小企業支援策～】

古川 忠彦 先生 @経営士、アルパーコンサルティング株式会社代表取締役

H27 【危機管理対策と学校教育における危機管理】

大泉 光一 先生 @青森中央学院大学大学院地域マネジメント研究科教授

【認知症（アルツハイマー病）の早期の介入・予防・リハビリについて】

朝田 隆 先生 @筑波大学精神医学教授

【教育再生の現在と展望】

八木 秀次 先生 @麗澤大学経済学部教授

H28 【憲法と地方自治～地方議会に今求められていること～】

白藤 博行 先生 @専修大学法学部教授

H29 【「バリアバリューから社会を変える」みんなが求めるユニバーサルマナー】

岸田 ひろ実 先生 @日本ユニバーサルマナー協会理事

【流山市の誇りと元気を育む景観まちづくり】

岡田 智秀 先生 @日本大学理工学部まちづくり工学科教授、
流山市景観アドバイザー

H30 【在宅医療と在宅介護について～現場の幸せや痛みに寄り添うために～】

山中 光茂 先生 @医師、元松阪市長、元三重県議会議員

【いのちのてざわり】

SATSUKI 先生 @ダンスボーカルユニット「ZOO」元メンバー

R 1 【家庭教育支援の重要性と大東市の家庭教育への取り組み】

水野 達朗 先生 @家庭教育支援センターペアレンツキャンプ代表理事、
大東市教育委員会委員

【ポスト安倍の日本政治】

青山 和弘 先生 @日本テレビ放送網、元国会・官邸キャップ

R 2 新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の発出により中止

R 3 【新型コロナウイルス感染症やワクチン】

中山 哲夫 先生 @北里大学大村智記念研究所

感染制御・免疫学部門ウイルス感染制御学研究室 I 教授

【これからの公民連携事業について～大東市での実践事例から～】

入江 智子 先生 @大東公民連携まちづくり事業株式会社代表取締役